



集落営農法人だより

副知事と山口県集落営農法人連携協議会との懇談会開催

10月24日、阿武町の(農)うもれ木の郷で「副知事と山口県集落営農法人連携協議会との懇談会」を開催しました。本協議会の田中豊策会長、山本勉生副会長など役員10名、県の藤部秀則副知事、北野常盤農林水産部長をはじめ約30人が参加しました。

懇談会の概要は以下のとおりです。

○開会・あいさつ

本協議会山本副会長〔(農)うもれ木の郷 代表理事〕が開催にあたり、協議会活動や自法人の取り組みについて説明されました。

本日は、お忙しいところ、藤部副知事にご出席していただきありがとうございます。しっかりと意見交換し、懇談会を有意義なものにしていきたいと思います。



山本副会長

その後、藤部副知事が農業に対する考え方等について話されました。



県 藤部副知事

現在、知事は、1・2・3次産業全てに力を入れるように話しています。法人化が以前より進んでいる中、この動きを大きく育て、元気な山口県づくりを進めていきたいと思っています。

また、後発法人の育成において、県協議会の役割はとて大きく、今日はその中心である役員の方々の意見をしっかりと伺いさせていただきます。

○昼食

(農)うもれ木の郷の女性組織「四つ葉サークル」が、法人が生産した大豆をふんだんに使った昼食を作られました。

参加者は、料理に舌鼓を打ちながら、(農)うもれ木の郷のこれまでの取り組みを紹介するビデオを鑑賞しました。



おむすび、豆腐、おからサラダ、豆腐かき風味フライ、豆乳シチュー(猪肉)、ほうれんそうの白和え

○現地視察

(農)うもれ木の郷のほうれんそうハウス、農業機械・格納庫、大豆圃場を副知事と共に視察しました。



ほうれんそうの収穫①



ほうれんそうの収穫②



大豆圃場の視察



農業機械・格納庫の視察

○懇談会

懇談会は、田中会長のあいさつの後、地元を代表して、JAあぶらんど萩の水津組合長が歓迎の言葉を述べられました。

法人協の活動は変化しており、2年前から、課題別に検討部会を開催し、法人の質を高める取組みを実施しています。また、その結果、課題も明確化されました。

現在、県農業に占める集落営農法人のシェアは1割程度となっていますが、1/3を超える割合になれば、山口県農業は変わると思います。これからも県農業の活性化を目指して頑張っていきます。



田中会長



水津組合長

当JAは、地域法人協議会の活動に力を入れています。協議会の中で、(農)うもれ木の郷は、地域を牽引する重要な法人です。今後も、JAとして、集落営農法人の活動をしっかりサポートしていきたいと思えます。

田中会長の司会により、①人材の育成、②経営の複合化・多角化の2つのテーマで意見交換をしました。

当協議会役員の本主意見は以下のとおりです。

①人材の育成について

- ・ 法人が人材を育成するためには、所得確保と住居確保が必要である。
- ・ 研修生の受け入れ等も考慮すると、受け入れ法人が集まっているブロックに研修兼宿泊所のような施設がほしい。
- ・ 農業簿記や経理について、指導していただける場を設けてほしい。
- ・ 若い世代の育成について、県の協議会でも検討しているが、関係機関は情報があればもっと提供してほしい。
- ・ 阿武町は、単町事業で1年間の研修制度を創設した。人材の見きわめるのに役立っている。
- ・ 阿武町のように熱心に対策を実施してくれるところもあれば、提案がない行政もあるなど格差がある。



②経営の複合化・多角化について

- ・ 周年作物の導入など経営複合化により、女性が法人に参加しやすくなり、雇用の場となっている。
- ・ JGAPを取得したが、米の単価が急激に上がるわけではない。生産者にメリットがあるような指導をしてほしい。
- ・ 何を植えるかの指導だけでなく、収穫後どのように消費者に渡するのかという流通ルートを明確にしてほしい。
- ・ 鳥獣害について、抜本的な駆除や費用の補助等が必要である。

【副知事のコメント・要旨】

同じ県内でも、地域の特性に合わせて法人は生まれているため、地域を見つめながら法人のこれからの道を考えていかなければなりません。

また、法人化がゴールではなく、地域維持や経営発展に向けて、法人は経営を継続することが求められています。

しっかり生産し、多様な販売チャネルを掘り起こし、後継者を確保していくことで、法人は次のステップに進んでいけると思います。

○記念写真



○写真（上）
 後列（左から）
 齊藤幹事、藤田幹事、秋本幹事
 J A中央会 山邊参与
 中列（左から）
 榎本幹事、藤岡幹事代理、
 吉見監事
 前列（左から）
 宗金幹事、田中会長、
 県 藤部副県知事、山本副会長
 倉益幹事

○写真（左）
 四つ葉サークルの皆さんの皆さんとの記念写真も撮りました。

（農）いきいきファーム美和 農林水産省経営局長賞受賞

（農）いきいきファーム美和は、10月31日、秋田県で開かれた平成24年度全国優良経営体表彰・表彰式で農林水産省経営局長賞を受賞しました。この賞は農業経営の改善に積極的に取り組み、地域農業の振興・活性化に寄与した法人に贈られる賞です。（農）いきいきファーム美和を代表して吉見代表理事（県協議会監事）が受賞式に出席しました。



受賞式の様子